科目ナンバリング	U-LAS04 10006 LJ46						
授業科目名 <英訳>	心理学II Psychology II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 大倉 得史		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

心理学の成り立ちと、人の心の基本的な仕組みおよび働きについて、法心理学の観点から論じる。具体的には、刑事司法における取調べの問題や目撃証言、被疑者、被害者の供述の分析の事例などを扱いながら、心理学の基礎的な知識を学んでいく。
なお、本授業では、刑事事件の具体的事例を扱う中で、性犯罪等のセンシティブな事案に言及する場合がある。これらは供述の心理的特徴や記憶過程を理解するために必要な範囲で取り扱うものであるが、内容に心理的負担を感じる場合には個別に相談に応じる。

[到達目標]

「知覚」や「記憶」、他者との「人間関係」や「コミュニケーション」を通して、「事実」ができあがってくる様相を理解する。刑事司法における諸問題についての見識を深め、供述分析の基本的手法を習得する。

[授業計画と内容]

１．冤罪はなぜ起こるか（第１回）
２．人質司法の問題（第２回～第４回）
３．目撃証言の心理学（第５回～第６回）
４．子どもの供述と司法面接（第７回）
５．代表的な供述分析（第８～９回）
５．裁判所はなぜ間違えるか（第１０回）
６．対立仮設検討型供述分析の考え方（第１１回～第１４回）
７．フィードバック（第１５回）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

レポートと授業中の小課題（レポート70%、小課題30%）。心理学の基礎知識を踏まえた上で、供述分析の考え方と手法を身に着けられているかを評価（素点）の対象とする。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
村山満明・大倉得史（編著）『尼崎事件　支配・服従の心理分析』（現代人文社）
浜田寿美男『自白の心理学』（岩波書店）
指宿誠・木谷明（他）（編）『供述をめぐる問題 (シリーズ 刑事司法を考える 第1巻)』（岩波書店）

浜田寿美男『証言台の子どもたち : 「甲山事件」園児供述の構造』（日本評論社）
山本登志哉（編著）『生み出された物語: 目撃証言・記憶の変容・冤罪に心理学はどこまで迫れるか (法と心理学会叢書)』（北大路書房）

心理学II(2)へ続く↓↓↓

心理学II(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

上記の参考書等を読み、「自己」「記憶」「事実」とは何であるかを考えておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

教室定員を超える受講希望者が出た場合、抽選を行う。グループワークを多用するので、積極的に発言すること。
授業内容に関して心理的配慮が必要な場合は、事前または授業後に個別に相談すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部